

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結ぶ —

校長室だより No.7

“やさしく かしく たくましく”
～ 本気と礼節の教育 ～

令和3年7月2日 文責:安生昌弘

◆ “コミュニティ・スクール” になりました

コミュニティ・スクールという言葉をお聞きになったことがありますか。市内全小中学校 17 校に今年 4 月(常葉小・中学校は去年4月), 学校運営協議会が設置されたのですが, 協議会が設置された学校をコミュニティ・スクール(地域運営学校)と呼ぶのです。

学校運営協議会は, 校長の他, 保護者, 地域住民, 有識者などで構成され, 合議制によって学校運営を進めていく組織です。今までの学校評議員制度と違って, 学校運営に対して強い権限を持ち, 協議会委員の意見は県教育委員会でも尊重しなければならない事になっています。ですから, 同時に大きな責任も生じることになります。つまり, 地域住民と校長が協力して知恵を絞りながら, 学校の教育活動をより良くしていくというイメージです。



先月 17 日, 校長室において第 1 回船引小学校運営協議会が開催されました。7 名の委員に市教育委員会から 2 年任期の任命書が交付され, 互選により会長と副会長が選出されました。その後, 今年度の船引小学校運営方針(教育活動の進め方)の承認をいただきました。本来 4 月に行うべき会議ですが, 県内コロナ禍の状況によって延期を余儀なくされ, ようやく開かれたものです。今後, 2 ～ 3 か月ごとのペースで会議を開催し, 船小教育の改善を図って参ります。また, 委員の方方には保護者授業参観日のお知らせもしておりますので, 参観される場合もありますので, ご承知おきください。委員の方々には地方公務員特別職となり, 守秘義務なども守られますのでご安心ください。

会長: 箭内 貴之(R 3 年度 PTA 顧問) 副会長: 高橋 秀章(前 船引中校長)
委員: 赤石澤 祐一(第 53 代 PTA 会長) 佐久間 由美子(元船引小教員)
 佐久間 崇(すみれデイサービス所長) 佐藤 健(船引地域教育協議会コーディネーター)
 安生 昌弘(校長) ※ 敬称略

◆ 働き方改革は子どものため

船小の先生方の長時間残業は, 多くの方に知られていることのようにです。第 1 回学校運営協議会でも多くの委員が「先生方の負担を軽くする方策を考えたい」という思いを述べていました。国の方針も授業や子どもの生活指導以外の仕事は学校外の人材が行うべきであるとなっています。先生の負担が減ってゆとりが出来ると, 笑顔で子ども達の前立って指導が出来るようになるからです。子どもの指導に専念できると子どもの学力も生活力も向上します。先生のゆとりを生み出す働き方改革は, 子ども達のためなのです。



現在, 船小では毎週水曜日を『ノー残業デー』として午後 6 時に学校を閉じるよう努力しています。それでも先生方の勤務時間終了は午後 4 時 40 分なので 1 時間以上のサービス残業になってしまいますが……。保護者の方には, 水曜日の来校や問合せは午後 6 時までにお願ひします。更なる働き方改革は, 協議会委員の知恵を合わせて進めて参ります。

学校と家庭がタッグを組み, 一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願ひ, 校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。